

かみす市議会だより

□発行／神栖市議会 □神栖市議会だより編集委員会

〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991-5 TEL. 0299-90-1172（直）FAX. 0299-90-1116

□ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/general/kamisusi/index.html>



急ピッチで復旧工事が進められた鰐川浄水場

市民の皆様へ

はじめに、去る、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、観測史上最大で、2万7千人を超える方が死亡・行方不明となり多数の家屋が崩壊するなど、東北・関東地方に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれました皆様に対し心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましても、市内各所で津波や液状化などにより建物の変形や塀の倒壊、道路の亀裂や陥没、上水道の断水・ろう水、下水道管の破損などの被害があり、未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされております。現在も余震や原発事故の風評による影響など、予断を許されない状況が続いておりますが、市議会といたしましても、市民の皆さんの安全・安心を第一に、一日も早い市民生活の回復に向け、全議員で取り組んでまいりますので、どうか市議会の活動等につきましても、特段のご理解をお願いいたします。

また、先の定例会におきまして、議長・副議長の辞職に伴い、議長に野口一洋議員が、副議長に三好忠議員が就任いたしました。今後とも、円滑なる議会運営に努めるとともに、震災からの復旧・復興に全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

活 動 経 過

市議会でも震災対策本部を設置

大震災における一日も早いライフラインなどの復旧や、復興に向けた活動を行うため、神栖市議会震災対策本部を設置いたしました。

神栖市災害対策本部と協力しながら市民生活の早期復旧を指して活動しております。

- 3月17日(木)「神栖市議会震災対策本部」を設置
本部長 野口一洋議長
副本部長 三好 忠副議長
本部員 23人(全議員)
- 22日(火)第1回 震災対策本部会議開催
市議会としての活動等についてを協議し、各議員からの要望等を取りまとめる。
- 23日(水)「東北地方太平洋沖地震対策についての要望書」を野口議長、三好副議長において、市長へ提出する。
- 28日(月)第2回 震災対策本部会議開催
各委員会単位において、市議会としての活動等について協議。
- 4月4日(月)第3回 震災対策本部会議開催
各委員会から市議会としての活動等について、報告を受ける。
- 5日(火)「鰐川浄水場の早期復旧に関する要望書」を野口議長、三好副議長、梅原委員長、長谷川委員長、五十嵐委員長において、茨城県企業局長へ提出する。
- 14日(木)「東日本大震災対策について(要望その2)」を野口議長、山中委員長、梅原委員長、長谷川委員長、五十嵐委員長において、市長へ提出する。
第4回 震災対策本部会議開催
今後の活動方針について協議。



震災対策会議の様子

鰐川浄水場の早期復旧に関する要望書

3月11日に発生した未曾有の大震災「東北地方太平洋沖地震」は、神栖市におきましても多大なる被害をもたらしました。

茨城県におきましても、「茨城県企業局鰐川浄水場」が甚大な被害を受け、神栖市への送水が完全にその機能を喪失した状況であると伺っております。

神栖市でも全力を挙げライフライン等の復旧に向け、着々と事業を進めております。特に、上水道につきましては、95,000人余の生活水に加え、鹿島臨海工業地帯をはじめ漁業関係など地域の産業活動を行う上で極めて重要なものとなっております。

現在は、「茨城県企業局鹿島浄水場」からの供給を受け、通水可能地区から供給を開始しておりますが、平常時3万トンの水量に比べ1万3千トン程度の水量では、市民生活や産業活動の再開には十分な水量とはいえず、その対応に神栖市は苦慮しているところです。

このようなことから、「茨城県企業局鰐川浄水場」の復旧は神栖市のみならず、茨城県の復興に不可欠であることから、昼夜を問わず全力で努力をしていただき市民が安定した日常生活に戻れますとともに、地域産業活動の復興が進むよう、浄水場機能の一日も早い復旧を強く要望いたします。

平成23年4月5日

茨城県企業局

局長 渡邊 一 夫 様

茨城県神栖市議会

議長 野口 一 洋

(神栖市議会震災対策本部長)

※茨城県企業局長へ神栖市選挙区選出の両県会議員の同席のもと要望書を提出しました。

その際、企業局長から、

- ・鰐川浄水場は遅くとも4月中に復旧
 - ・鹿島浄水場からの水道水1万5千トンの確保
 - ・ペットボトル(飲料水)1万本の提供
 - ・給水車2台の借受け
- などの約束をしていただきました。



茨城県企業局長へ要望書を提出

市長へ要望書を提出

議 第 41 号
平成 23 年 4 月 14 日

神栖市長 保 立 一 男 様

神栖市議会議長 野 口 一 洋
(震災対策本部長)

東日本大震災対策について (要望その 2)

このことについて、当市議会としても、これまで震災対策活動等を行ってきたところです。つきましては、下記のとおり要望しますので、早急な対策と国及び県等へ働きかけていただきますよう、特段の取り計らいをお願いいたします。

記

- 1 上下水道の早期復旧
- 2 雨水排水路の早期復旧
- 3 鹿島港の早期復旧
- 4 土地改良区域内の公道路、排水路などの早期復旧
- 5 放射能による農作物の風評被害に対する早期補償の具体化
- 6 住宅被災者への財政支援の具体化
- 7 被災した商工業者に対する金融支援制度を充実し、その他の支援制度を含めた周知
- 8 被災した商工業者に対する市独自の支援制度の創設
- 9 津波の被害を受けた農地や神之池貯水池の塩分濃度調査と早急な対処
- 10 市内の液状化現象による被害状況調査の早期実施
- 11 鱈川浄水場復旧までの水量不足への対応や今後の見通しなどの周知
- 12 給水車による活動（給水時間の延長等）への積極的な対応
- 13 放射能による風評被害が生じないように、農産物、水産物、土壌（特に水田）については国・県による検査の結果を注視し、安心・安全であることの周知
- 14 市営墓地復旧の支援
- 15 復興のための補正予算の優先的な編成
- 16 放射能による風評被害対策として、特産のピーマンを直売するイベントの実施
- 17 万全な津波防止対策について

なお、復旧・復興状況等について、議会への説明をお願いいたします。

議 第 37 号
平成 23 年 3 月 23 日

神栖市長 保 立 一 男 様

神栖市議会議長 野 口 一 洋
(震災対策本部長)

東北地方太平洋沖地震対策についての要望書

日々の市政全般に関する活動に対して、敬意を表します。さて、未曾有の大震災となった東北地方太平洋沖地震について、神栖市として下記のとおり対応を行っていただきますよう、要望いたします。

記

- 1 市民生活にかかる上・下水道の復旧について
(1) 上・下水道の早期復旧を願います。
(2) 具体的な復旧の予定について、情報提供願います。
(3) 高齢者のために給水所の増設を願います。
- 2 市独自の復興支援策について
(1) 自宅に住めない方へ、家賃の補助について検討願います。
(2) 保育料の減額を検討願います。
(3) 温浴施設がない地区もあるので、セントラルホテルの温泉を助成できるよう検討願います。
(4) 災害被害者のための総合相談窓口を設置願います。
- 3 わかりやすい情報発信について
(1) 防災無線が聞きづらいので、対策願います。
(2) 「FMかみす」などの情報発信を検討願います。
(3) ピーマンの風評被害について、安全宣言や安全発信を願います。
- 4 災害復旧に必要な予算の確保について
(1) 防災公園を整備していくなかで、津波に耐える避難場所の設置を検討願います。
(2) 漁船の津波被害への支援の検討を願います。

なお、市において議会への被害状況等の報告をお願いいたします。



議長、各委員長が市長へ要望書を提出



正副議長が市長へ要望書を提出

各委員会からの調査報告

総務企画委員会

4月1日に、委員会を開催し、鹿島港の視察を実施するなど、要望等の取りまとめを行いました。

本委員会では、次の事項について、要望することを提案しました。

- ・ 鰐川浄水場の早期復旧について
- ・ 鹿島港の早期復旧について
- ・ 放射能による農作物の風評被害に対する早期補償の具体化について
- ・ 住宅被災者への財政支援の具体化について
- ・ 上下水道の早期復旧について
- ・ 放射能による風評被害対策として、神栖市特産のピーマンを直売するイベントの実施について



健康福祉委員会

3月30日に、委員会を開催し、平泉コミュニティセンター、啓愛園、特別養護老人施設「はまなす」の視察を実施しました。

本委員会では、次の事項について、要望することを提案しました。

- ・ 水道の早期復旧について
- ・ 避難者の住居対策として、セントラルホテル本館を市で借り上げられないか



教育環境委員会

4月1日に、委員会を開催し、被害の大きかった幼稚園や学校、墓地の被害状況について、また、県の施設である鰐川浄水場の復旧状況について、現地視察を実施しました。

本委員会では、次の事項について要望することを提案しました。

- ・ 新学期に向け、校舎等の安全対策やトイレ、給食等の準備体制の整備をお願いしたい。
- ・ 水道の復旧が長期化する中で、水量不足への対策や今後の見通しなどを住民に周知願いたい。
- ・ 水道が復旧するまでの間、住民への給水活動（給水時間の延長等）を積極的に行ってほしい。
- ・ 復興のための補正予算を優先的に編成願いたい。
- ・ 市営墓地復旧の支援をお願いしたい。



都市産業委員会

3月31日、4月7日、9日に、委員会を開催し、要望等のとりまとめを行いました。

本委員会では、次の事項について、要望することを提案しました。

- ・ 放射能による風評被害が生じないように、農産物、水産物、土壌（特に水田）については国・県による検査の結果を注視し、安心・安全であることを周知すること。
- ・ 津波の被害を受けた農地や神之池貯水池の塩分濃度を調査し、早急に対処すること。
- ・ 鹿島港の早期復旧
- ・ 上下水道の早期復旧
- ・ 被災した商工業者に対する金融支援制度を充実し、その他の支援制度を含めて周知を図ること。
- ・ 被災した商工業者に対する市独自の支援制度の創設
- ・ 雨水排水路の早期復旧
- ・ 土地改良区域内の復旧整備について
- ・ 市内の液化化現象による被害状況の調査を早急に行うこと。
- ・ 万全な津波対策を国・県に対して働きかけること。



テレホンサービス（防災行政無線の内容が確認できます）
0120(40)8031

編集後記

平成二十三年第一回定例会の内容をお知らせする議会、たよりを五月中旬に発行する予定でありますが、去る三月十一日に発生した大地震に伴い、当市議会に震災対策本部を同月十七日に設置いたしました。この震災対策本部は、各議員が地域の実情や住民の声を聞き、また各常任委員会ごとに分かれて現地調査などを含め協議を重ねながら、市などの関係機関に要望活動を行い復旧・復興につなげるものです。これまでの活動等について市民の皆さんにご報告いたすため、かみす市議会、たより第二十五号（臨時号）として発行をすることとなりました。どうぞよろしくご理解をお願いいたします。

なお、第一回定例会最終日の本会議では、提案されていた新年度予算などの議案をすべて議決して閉会しております。詳細につきましては、次号でお知らせいたします。

（みんなでがんばろう神栖）

神栖市議会だより編集委員会

委員長 遠藤 貴之
副委員長 野口 文孝
委員 三好 忠
神崎 清
佐藤 節子
五十嵐 清美